

# 1. 調査報告概要表

## 【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成19年9月26日

### 【評価実施概要】

事業所番号	2772401259		
法人名	医療法人 美杉会		
事業所名	グループホーム美杉		
所在地	枚方市西招堤町2166 (電話) 072-836-6080		
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会		
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内		
訪問調査日	平成19年9月5日		

### 【情報提供票より】(平成19年8月1日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成13年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	7人, 非常勤 9人, 常勤換算 7.0人

#### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	3階建ての	1階 ~	2階部分

#### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	57,750円	その他の経費(月額)	約25,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 2,000円 ※月額60,000円			

#### (4) 利用者の概要 (平成 月 日現在)

利用者人数	18名	男性	1名	女性	17名
要介護1	4名	要介護2	5名		
要介護3	8名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.1歳	最低	73歳	最高	101歳

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人美杉会 佐藤病院、藤田歯科医院、藤川歯科医院
---------	----------------------------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人が運営するグループホームで、介護老人保健施設、デイケアセンターが併設されています。理念として「一人ひとりの思いを理解・尊重し、大切にしていきます」「利用者さんが安心して生活できる雰囲気・環境作りに努めます」「地域の中でその人らしい生活が支援できるように、地域とのつながりを大切にしていきます」を掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしく暮らしていくことを目指しています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気で接しています。利用者には笑顔が見られ落ち着いた様子で過ごしています。

### 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)</p> <p>前回の外部評価の指摘事項について改善の取り組みが進んでいます。介護計画は定期的には3ヶ月毎に、状態の変化がある時はその都度見直しをしています。金銭管理についても家族による確認の署名を貰っています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は、管理者とリーダー職員で案を作り、他の職員の意見も聞きながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は地域包括支援センター、民生委員、家族、利用者の参加のもと2ヶ月毎に実施されています。会議では運営状況、生活ぶり、行事予定や課題について報告し、地域との相互交流について話し合っています。今後は地域の方も参加できる認知症研修会を計画しています。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えていきます。利用者の健康や安全に関わる事項についてその都度電話で家族に報告をしています。3ヶ月毎にたより「ゆうゆう」を発行し、行事や生活状況について報告し、新任職員の紹介もしています。家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応するとともに、年に2回行事の際に家族会を開き意見交換をしています。苦情箱も備え付け意見を表せる機会を設けています。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営推進会議に参加している地域のメンバーの紹介で地域の運動会や文化祭に参加し、小中学校との交流が始まっています。家族会の協力も得てベルマークを集め小学校へ寄贈する予定です。</p>
重点項目④	

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として「一人ひとりの思いを理解・尊重し、大切にしていきます」「利用者さんが安心して生活できる雰囲気・環境作りに努めます」「地域の中でその人らしい生活が支援できるように、地域とのつながりを大切にしていきます」を掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしく暮らしていくことを目指しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化してホーム内に掲示されています。採用時研修や月例ミーティングで、管理者と職員は理念を共有するべく話し合っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	運営推進会議に参加している地域のメンバーの紹介で地域の運動会や文化祭に参加し、小中学校との交流が始まっています。家族会の協力も得てベルマークを集め小学校へ寄贈する予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の指摘事項について改善の取り組みが進んでいます。自己評価は、管理者とリーダー職員で案を作り、他の職員の意見も聞きながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域包括支援センター、民生委員、家族、利用者の参加のもと2ヶ月毎に実施されています。会議では運営状況、生活ぶり、行事予定や課題について報告し、地域との相互交流について話し合っています。今後、地域の方も参加できる認知症研修会の計画をたてています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の企画で地域のグループホーム交流会を実施し意見交換をしています。また介護相談員も受け入れています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族と面会する時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の健康や安全に関わる事項についてその都度電話で家族に報告をしています。3ヶ月毎にたより「ゆうゆう」を発行し、行事や生活状況について報告し、新任職員の紹介もしています。預り金の収支と残高については定期的に家族の確認を得ています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応するとともに、年に2回行事で訪問された際に、家族会を開き意見交換をしています。苦情箱も備え付け意見を表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の配置人数は多く、離職率も少ない状況です。離職に対しても母体法人からの経験者の異動で補充することにより、利用者に与える影響が少なくなるよう配慮しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に対する取り組みは熱心で、職員の希望に応じて外部研修に派遣し、月2回法人内の研修会に参加するとともに、定期的に職場勉強会を実施し伝達研修も行っています。採用時研修も行われています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市と地域包括支援センターの企画で地域のグループホーム交流会が行われ意見交換会を行っています。近隣のグループホームとも利用者を含めた交流会を実施しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の家庭訪問やホームの見学を通じて馴染みの関係を作り、家族や本人の不安を取り除き安心して入居しサービスを受けられるようにしています。施設から入居される時も職員が施設に出向き本人との話し合いを持っています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	利用者が孤立することなく安心して日々の生活を送れるよう、それぞれが得意なことや仕事を持ち、ホーム内で役割を持って生き生きと活躍できるよう支援しています。若い頃から小唄や謡曲、太鼓を習ってきた利用者が太鼓を叩いて見せ、併設の施設でも太鼓の腕前を披露した事例があります。職員は利用者から料理の味付けや裁縫を教わる等、共に支え合う関係を築いています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め支援しています。現役時代と変わらず毎朝早起きして掃除をしたり、朝食の準備を手伝う利用者、毎日でも風呂に入りたいと希望される利用者、できるだけ多く外出したい利用者等一人ひとりの思いや意向に合わせた生活を支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントの結果と、利用者の現在の暮らしや、心身の状況から判断し、医師や看護師の意見、利用者と家族の意向・願いを反映した介護計画を作成しています。職員は担当制にして利用者と家族の意見を取り入れています。介護計画は説明をした上、家族の同意を得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には3ヶ月毎に、状態の変化がある時はその都度見直しをすることになっています。援助項目毎に定期的にモニタリングを行い、利用者と家族の意向を聞き、カンファレンスを行いながら介護計画の見直しを行っています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体病院の看護師と連携し、利用者の状態に合わせて必要な看護を受けています。併設のデイケアセンターや同一法人内のグループホームとの交流があります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望により以前からのかかりつけ医師（医療機関）に引き続き医療を受けている利用者があり、必要に応じて職員が通院介助を行っています。 母体病院からも医師が週1回往診をしています。母体病院と連携し夜間や急変時の対応についての体制整備も整っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	この1年間で利用者の看取りを行ってきました。利用者・家族と医師との話し合いや、利用者・家族とホームとの話し合いを続け、医師の助言と指導により対応してきました。今後も看取りを行う方針で、書式を整え家族の意向確認と医師の意見の確認をすすめています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。利用者には笑顔が見られ落ち着いた様子で過ごしています。個人情報の取り扱いについても職員に書面で周知徹底しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと好きなことをしながら暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。食事のタイミングを外した利用者の希望に応え時間をずらして居室で食事をする支援をしたり、お風呂に毎日でも入りたい利用者を支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日、併設の老人保健施設の厨房から取り寄せた食事の盛り付けや片付けを利用者とともに行っていきますが、週に3回は利用者の希望を聞きながら作った献立表に添い、買物から調理、後片付けに至る一連の流れを利用者も参加しながら楽しんでいます。職員は同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	お風呂は水曜日以外いつでも入浴が可能です。ゆっくり寛いだ入浴ができています。夜間の入浴も開始しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事が大好きという利用者、園芸が好きで季節の花や菜園に水遣りをする利用者、毎朝門扉まで新聞を取りに行く利用者、太鼓を叩くのが大好きな利用者がいます。ただ全体的にみると、利用者の生活歴を聞き取り、利用者の個性を活かした役割や楽しみごとの把握をして毎日の生活に活かす支援が十分ではありません。	○	利用者や家族の協力を得て生活歴や、利用者の個性、得意なこと等を聞き取り記録に残しながら、それらの情報を元に利用者の役割や楽しみごとに活かしていくことが求められます。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩や週2回の買物のほか、月2回教会にいたり、ご主人が入居しているグループホームを訪ねたりしている利用者がいます。季節毎の初詣や祭り、花見にも出かけています。個人別に計画的に目標を決めて外出する企画の準備をしています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関ドアやエレベーターには鍵がかかっていません。利用者はエントランス部分の広場で自由に寛いでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p><b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年に2回併設施設とともに消防署の協力を得て避難訓練を実施しています。今は職員のみでの対応で利用者は避難訓練に参加していません。食料と水の備蓄については冷蔵庫や冷凍庫、収納庫、併設施設の厨房の在庫があり、最低限の量は確保しています。また非常・災害時のための食料品と水の備蓄について「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成しておくことが望まれます。今後避難訓練については職員だけでなく、利用者や、できれば地域住民も訓練に参加を計画されてはいかがでしょうか。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p><b>○栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量、水分摂取量について記録をとっています。栄養バランスについては併設のデイケアセンターの栄養士からアドバイスを受けています。水分摂取について、医師から指示のある利用者については、職員全員が摂取量を確認できるよう個人用のピッチャーを用意していました。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周りには季節の花や植木があり、りんごの木も植えられています。椅子や畳表のベンチがあり寛ぎやすい雰囲気、観葉植物、装飾品や絵画も飾られ訪ねやすい雰囲気になっています。リビング兼ダイニングルームは明るく広く落ち着いた雰囲気になっています。食卓以外にソファや椅子が置かれ寛げる居場所も確保されています。リビングには本やレクリエーション道具棚、掃除道具、新聞などがあり家庭的で生活のにおいのする共用空間になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームが提供している洋服ダンス、ベッド、椅子以外に利用者はそれぞれ、整理タンス、ソファ、椅子やテーブル、飾り棚、遺影、装飾品、家族の写真、テレビ、使い慣れた馴染みの古い物や生活用品を持ち込んでいます。畳表の上敷きをひいてこたつ机と座椅子を置き純和風の居室にしたり、昔からのスタイルでたくさんの書類を机の上に置いている男性の居室があったり、居室で花を育てたりする等、利用者が安心して過ごせる場所となっています。		